



◆記事の内容◆

- 平成29年度 林野庁関係予算の概要
- 平成29年度 林野関係予算の重点事項
- 平成29年度 国有林関連予算の概要
- 前林協 情報交換会

3/27 成立



平成29年度 林野庁関係予算の概要

総括表

区分	平成28年度 当初予算額	平成29年度 概算決定額	(H28年度2次補正追加額)	
			補正額	補正+29
公共事業費 (対前年度比%)	1,900	1,900 (100.0)	663	2,563 (134.9)
一般公共事業費 (対前年度比%)	1,800	1,800 (100.0)	410	2,210 (122.8)
治山事業費 (対前年度比%)	597	597 (100.0)	100	697 (116.8)
森林整備事業費 (対前年度比%)	1,203	1,203 (100.0)	310	1,513 (125.8)
災害復旧等事業費 (対前年度比%)	100	100 (100.0)	253	353 (353.5)
非公共事業費 (対前年度比%)	1,033	1,055 (102.1)	360	1,415 (137.0)
総計 (対前年度比%)	2,933	2,956 (100.8)	1,022	3,978 (135.6)

- (注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び農山漁村振興交付金に林野関係事業を措置している。
- 2 () 内の数字は対前年度比。
- 3 計数は、四捨五入のため合計とは一致しない場合がある。
- 4 このほか、28年度3次補正予算において、災害復旧等事業に95億円を措置している。

[平成29年度 林野関係予算の重点事項]

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

総額 2,956億円
(2,933億円)

※各事項の下段()は、平成28年度当初予算額

① 次世代林業基盤づくり交付金

- 需要に応じた低コストで効率的な木材生産・供給を実現するため、C L T (直交集成材) 等を活用した木造公共建築物の整備等により需要拡大を図るとともに、木材加工流通施設、苗木生産施設等の整備、間伐・路網整備を行い、地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援

70億円
(61億円)

② 林業成長産業化地域創出モデル事業

- 川上から川下までの事業者がバリューチェーンでつながり収益性の高い経営を実現する「林業聖地用算木用か地域」をモデル的に選定し、地域が提案する明確なビジョンの下での取組を重点的に支援

(次世代林業基盤
づくり交付金で実
施)

10億円
(一円)

③ 合板・製材生産性強化対策

- 大規模・高効率の加工施設の整備、当該施設への原料の安定供給のための間伐・路網整備等を支援

【補正予算】
330億円

④ 施業集約化の加速化

- 森林所有者・境界の明確化や関係者の合意形成に向けて森林整備地域活動支援交付金を交付するほか、市町村が森林の所有者情報を一元的に取りまとめた林地台帳の整備にも資する森林G I S等のシステム整備を支援

9億円
(6億円)

⑤ 森林・林業人材育成対策

- 林業への就業前の青年に対する給付金の給付や、「緑の雇用」事業による人材の育成を支援

60億円
(59億円)

⑥ 新たな木材需要創出総合プロジェクト

- 中高層建築等に活用できるC L T の利用促進、セルロースナノファイバーなど新たな製品・疑似湯津の開発・普及の加速化、地域材の利用拡大等を支援

12億円
(14億円)
【補正予算】
地域材利用拡大
緊急対策
5億円

⑦ C L T 利用促進総合対策

- C L T 等を活用した先駆的な建築物の建築、大規模・高効率の加工施設におけるC L T 製造ラインの整備を支援

【補正予算】
10億円
このほか合板・
製材生産性強化
対策で実施
330億円の内
数

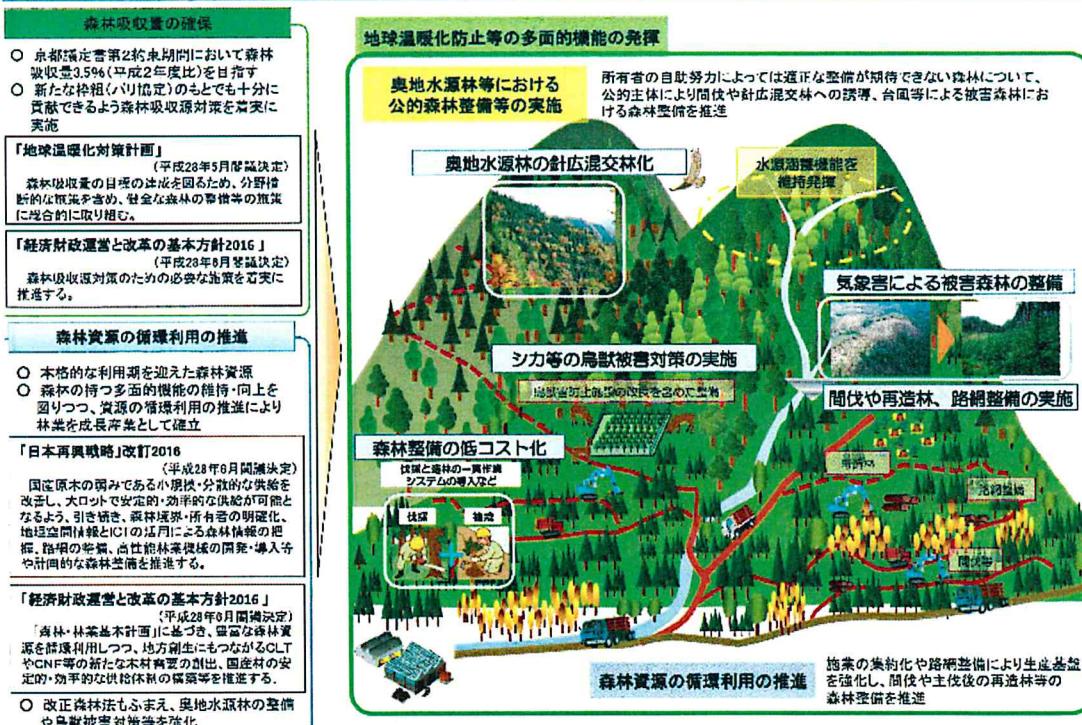
<p>⑧ 木質バイオマスの利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスの利用促進を図るため、エネルギー利用拡大に向けた全国的な需用差、新たなマテリアル利用の促進に向けた技術開発等を支援 	<p>(新たな木材需要創出プロジェクトで実施)</p> <p>4億円 (5億円)</p>
<p>⑨ 違法伐採対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> クリーンウッド法（合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律）の施行のための取組を実施 	<p>(新たな木材需要創出プロジェクトで実施)</p> <p>【補正予算】 2億円</p> <p>1億円 (0.4億円)</p>
<p>⑩ 花粉発生源対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 花粉の少ない品種等を対象とした採種園等の造成・改良、コンテナ苗の生産技術研修、花粉症対策苗木への植替え、花粉飛散防止剤の実証試験等を支援 	<p>5億円 (4億円)</p>
<p>⑪ 森林・山村の多面的機能の発揮対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を市町村等の協力を得て支援 	<p>17億円 (25億円)</p>
<p>⑫ シカによる森林被害緊急対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> シカによる森林被害が深刻な地域において、地方公共団体等と連携し、広域かつ緊急的に捕獲、防除等を実施 	<p>【補正予算】 1億円</p> <p>2億円 (2億円)</p>
<p>⑬ 「農泊」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 増大するインバウンド需要を呼び込み、農山漁村の所得向上を図るため、「農泊」をビジネスとして実施できる体制の構築、地域に眠っている資源の魅力ある官公コンテンツとしての磨き上げ等の取組や古民家等を活用した滞在施設、農林漁業体験施設等の整備を一体的に支援 このほか、国有林において、修景伐採、木道整備等を実施 	<p>(農山漁村振興交付金で実施)</p> <p>101億円の内数 (80億円の内数)</p> <p>1億円 (一億円)</p>
<p>⑭ 森林整備事業〈公共〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 国産材の安定供給体制を構築するとともに、地球温暖化を防止するため、間伐や路網整備、主伐後の再造林等を支援 	<p>1,203億円 (1,203億円)</p> <p>【補正予算】 310億円</p>
<p>⑮ 治山事業〈公共〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震・集中豪雨等に対する山地防災力の強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、津波に強い海岸防災林の保全等を推進 	<p>597億円 (597億円)</p> <p>【補正予算】 100億円</p>

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進



平成29年度森林整備事業について

平成29年度予算概算決定額: 1,203億円 (I 203億円)



平成29年度 国有林関連予算の概要

(単位：百万円)

区分	平成28年度 当初予算額	平成29年度 概算決定額	対前年度比	備考
I 一般会計 【歳出】				
1 公共事業費				
(1) 森林整備事業費	[2,092] 65,717	[2,595] 65,731	[124.0] 100.0	
(2) 治山事業費	[3,565] 33,101	[2,947] 33,108	[82.7] 100.0	この他、国交省及び内閣府に3,397百万円（前年度3,375百万円）を含む
(3) 災害復旧事業費	[9,173] 4,701	[9,888] 4,536	[107.8] 96.5	
2 非公共事業費				
(1) 森林整備・保全費	1,321	1,392	105.4	
うち次世代林業基盤づくり対策（関係分）	-	19	皆増	
うち次世代木材生産・供給システム構築事業（関係分）	-	10	皆増	
うち林業成長産業化地域創出モデル事業（関係分）	-	9	皆増	
森林景観を活かした観光資源の創出事業	-	100	皆増	
シカによる森林被害緊急対策事業（関係分）	97	88	90.4	
(2) 国有林野産物等売扱及管理処分業務費	18,688	17,881	95.7	
うち 人件費	6,417	5,610	87.4	
事業費	8,876	8,862	99.8	
うち 木材供給事業費	5,703	5,650	99.1	
(3) 国有林野事業債務管理特会へ繰入れ	17,632	19,754	112.0	
①長期借入金利子財源	6,022	4,804	79.8	
②借入金元本償還財源	11,564	14,889	128.8	
③一時借入金利子財源	45	61	134.9	

《平成29年度国有林関係予算》

(単位：百万円)

区分	平成28年度 当初予算額	平成29年度 概算決定額	対前年度比	備考
【歳入】				
1 国有林野事業収入	27,743	28,097	101.3	
うち林産物収入(分収育林収入含む)	23,939	24,653	103.0	
2 官行造林収入	259	280	108.0	
II 国有林野事業債務管理特別会計				
【歳入】				
1 一般会計より受入れ	17,632	19,754	112.0	
2 借換借入金	313,100	324,000	103.5	
【歳出】				
1 国債整理基金特別会計 へ繰入れ	330,732	343,754	103.9	

注) [] は、復旧・復興枠で外書き

公共工事設計労務単価

県名	特殊作業員	普通作業員	軽作業員	特殊運転手	一般運転手	土木世話役
福島県	22,700	17,500	15,200	21,100	19,100	22,200
栃木県	19,900	17,400	12,900	19,600	18,700	21,800
群馬県	19,900	18,400	13,700	19,900	16,800	21,900
新潟県	20,300	17,100	15,000	20,100	17,600	20,600

(注) 平成29年3月から適用する公共工事設計労務単価。

林野関係予算や新たな森林・林業の各種取組等々について、会員の皆様に理解を深めていただくとともに、情報親睦を深めるため、例年恒例となつて、情報交換会が会員多数出席して、前橋市石倉町のホテルサンダーリンにおいて開催されました。

冒頭、高山会長から、先週の中研修会には、多くの研修生に参加をいたしました。昭和30年代から始まつた拡葉があり、大造林が半世紀が経ち、先人達の苦労が身を結び見事に成林し、国産材の活用する時代となりました。今、改めて先人達の苦労に深く感謝申し上げる次第であります。この豊富な森林資源を伐つて、循環利用を進め、林業・木材産業の成長産業化を実現し、地方を活性化させます。一つとしてバイオマス発電が全国で材で計画されておりますが、これが大きな手がかりにならなければなりません。また、林野各産地で材を活用する大きい手がかりはないでしょうか。

情報交換会 の開催



約や一貫作業システムなどの取組が行わ
れており、これもまた、事業量の確保に
繋がり地元雇用が拡大され、地方の活性化
につながりますので大いに期待をして
いるところでございます。私たち事業体
は、一番近くの立場にいる訳であります
ので、安全に対する意識をもう一度ご理
解の上、今年度も事業実行に取り組まれ
るよう要請がありました。

その後、来賓として出席された関東森林
管理局の漆原局長から、次のようなご
挨拶をいただきました。

A photograph of a man with glasses and a dark suit, speaking into a microphone. He appears to be giving a speech or presentation. The background is a plain, light-colored wall.

今、本格的な利用期を迎えております。この豊富な森林資源を伐って、使つて、植えるという循環利用を進め、林業・木材産業の成長産業化を実現すること、また、地方創生に繋げていくことが重要な課題でございます。昨年5月に閣議決定されました「森林・林業基本計画」におきましては、10年後の国産材の供給量を現状の1・7倍に拡大することを目標に掲げ、「国産材の安定供給体制の構築」と「新たな木材需要の創出」を車の両輪として、各般の施策を総合的に講じていくこととされております。関東森林管理局におきましても、森林の多面的機能の維持・向上を図るため、森林の整備・保全を着実に推進することに加えまして、林業・木材産業の成長産業化や地方創生に積極的に貢献していくこととしております。その一貫といたしまして、国有林における施業方法を大きく見直して、いるところですござります。間伐については、原則、間伐については、原則、下刈り回数を見直す、コントローラーへの転換を推進する、伐採から造林までの作業を連続して行う一貫作業システムを導入するなどといった取組を行つて、いるところでございまして、本日、ご出席の皆様方にも大変ご協力をいただいていようと、ころでござります。また、一貫作業システムにつきましては、本年度管内6つの森林管理署で導入をしましたところでござりますが、皆様からのご要望も踏まえまして、29年度につきましては、複数年契約も活用しながら取組を関東森林管理局の管内全域に拡大していく計画でございますので、引き続き皆様のご理

解ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。また、野生鳥獣の問題が大変大きな社会問題であります。シカの捕獲対策を更に強化して参りますし、花粉発生源対策もこれも重要な課題でございます。花粉症対策苗木の植え替えなど、花粉の少ない森林づくりにも更に進めて参ります。

今年3月には東日本大震災の発生から丸6年を迎えますが、被災地の森林・林業・木材産業の再生に向けて取り組むべき課題は数多く残されております。関係自治体等と密接な連携の下、各種事業の実施等に全力で取り組んで行くこととしております。

労働災害の防止も大変重要な課題でございます。実は今年度、関東森林管理局内に国有林の森林整備をお願いしている業者の方、或いは、立木販売箇所における労働災害は昨年度を上回るペースで発生をしております。大変残念な状況であります。労働安全は何よりも重要でありますので、労働災害防止に万全を期していくお願いをしますようくくれぐれもよろしくお願いしたいと思つております。

それから国税版の森林環境税創設に向けた動きについて一言触れさせて頂きます。今、我が国の森林整備をするための当初予算では、十分な額が確保されておりませんで補正予算を合わせて何んとか所要額を確保出来て、林野庁におけます。今後とも、森林整備を進めて行くた當には、安定的な財源を確保していくことが不可欠でありますので、林野庁にお



当局の森林整備部長は
諸々の情報提供をさせ
皆様方と意見交換を
しておきます。本
日はどうぞよろしく
お願い致します。
続いて、昨年11月
に全国国有林造林生
産業連絡協議会顧問
に就任されました川
端顧問から、次のよ
うなご挨拶がありま
した。

きましては、林業・木材産業の関係団体の皆様方からのご要望も踏まえながら国税版の森林環境税の創設を目指して頑張つてきております。昨年12月に決定をされました与党の税制改正大綱におきまして、森林環境税の創設について具体的な仕組みを総合的に検討し、平成30年度税制改正の中でも（今年の12月）決定されるものであります。が結論を得ることにされたものです。検討期限が明記され、今後の森林整備を進めて行くのに不可欠な安定期的な財源を確保出来るかどうか、今年の2月までが正念場でございます。本日お集まりの皆様方には、より一層の力強く後押しを頂きますようお願いしたいと思つて参ります。



ことが必要になつてくるし、そういつた取組が多くなるものと思います。これらを進めて行くにあたつても、川上、川中、川下がそれぞれ相互に理解し合つて、どこを欠けてもうまく循環させて成長産業化に持つて行くことが大きな課題と思つております。それぞれの地域では、いろんな課題が山積していることだと思いますので、このような情報交換会を通じて現場の課題を会員同士交換し合つて、また、行政の方にも伝えて行くことなどで大変重要な意見交換会だと思います。

冒頭申し上げましたが、これまでの話は殆ど役署時代と同じになりますが、皆さんの現場での問題を解決できるように私の経験を駆使してこれから処理に当たつて行きたいと思います。また、先程、森の環境税の話がありましたら、しっかりと考え方を対応して行きたいと思いますので、前橋国有林森林整備協会会員の皆様方にもご協力等よろしくお願ひ致します。と来賓としてお出でいただきました両氏からご挨拶をいただきました。

た情報交換会となりました。



続いて、立木販売・造林請負一貫作業の実施状況を高山林業株式会社の芝田部長から、民間競争（市場化テスト）による実施状況を四万林業協業組合の堀込課長からそれぞれ報告していただきました。次に、石橋森林整備部長、内海資源活用課長から林野を取り巻く最近の情勢や林野庁の28年補正予算や29年予算関係について情報提供があり、森田企画官から、安全指導が行われ、意見交換を行いました。

意見交換では、一貫作業システムにおける実施方法やコスト削減、市場化テストでは、

▽関東森林管理局
【一月一日付け】

【一月一日付け】

福島森林管理署長

【四月一日付け】

福島森林管理署	森林技術指導官
磐城森林管理署	地域林政調整官
棚倉森林管理署	總括森林整備官
日光森林管理署	總括事務管理官
塩那森林管理署	總括治山技術官
群馬森林管理署	次長
利根沼田森林管理署	地域林政調整官
吾妻森林管理署	總括事務管理官
下越森林管理署	總括治山技術官
村上支署	次長
上越森林管理署	總括森林整備官
中越森林管理署	次長
下越森林管理署	總括事務管理官
村上支署	次長
上越森林管理署	總括治山技術官
中越森林管理署	總括森林整備官
下越森林管理署	森林技術指導官
村上支署	次長
上越森林管理署	總括森林整備官

石小 飯高長小太兵廣阿近齋岩岡角野茂加渢油中鎌佐丹松伊山藤
栗松空沼木部倉田藤田津江藤田井田口垣美谷井島田藤藤浦藤田木
克 和俊圭 祐 隆 清芳一光圭昌英章俊和 卓俊正真久
也 敬 席 新敏重一介尚一聰昭剛人樹樹三三克夫郎和博晃司男彦二司



○○ 協会の主な動き ○○

未定

1月4日
仕事始め1月13日
森林林業中央研修会（東京都）1月18日
前林協 情報交換会（前橋市）2月17日
群馬県山林種苗緑化協同組合通常総会（前橋市）2月23日
関東森林管理局2月24日
森林・林業技術等交流発表会（前橋市）2月23日
全国国有林造林生産業連絡協議会理事会（東京都）2月24日
全国造生協事務局長会議（東京都）2月27日
村上林業協同組合通常総会（村上市）3月23日
森林管理局 林業事業者との意見交換会（前橋市）3月25日
C P D 認定 群馬県技士会主催研修会（前橋市）

奥久慈林業協同組合第18回通常総会
大間々林業協同組合第35回通常総会
沼田森林業協同組合第44回通常総会
群馬県技士会総会（前橋市）
奥久慈林業協同組合安全大会（棚倉町）
いしかわ林業協同組合・有限会社大須賀林業・白栄
林業企業組合合同安全衛生大会（石川町）
磐城林業協同組合安全大会（いわき市）

1月4日
仕事始め

1月13日
森林林業中央研修会（東京都）

1月18日
前林協 情報交換会（前橋市）

2月17日
群馬県山林種苗緑化協同組合通常総会（前橋市）

2月23日
関東森林管理局

2月24日
森林・林業技術等交流発表会（前橋市）

2月23日
全国国有林造林生産業連絡協議会理事会（東京都）

2月24日
全国造生協事務局長会議（東京都）

2月27日
村上林業協同組合通常総会（村上市）

3月23日
森林管理局 林業事業者との意見交換会（前橋市）

3月25日
C P D 認定 群馬県技士会主催研修会（前橋市）



○○ 編集後記 ○○

林業の担い手となる若者にとって魅力ある職場にするためには、労働災害の無い安全な明るい職場にすることが不可欠です。

新年度のスタートを機に、改めて安全作業の徹底に努めて頂き、今年もゼロ災を達成するよう引き続きよろしくお願ひ致します。

6月16日
前林協 安全祈願祭（前橋総社神社）

5月31日
前林協 第1回理事会（前橋市）

5月25日
全国国有林造林生産業連絡協議会定期大会（東京都）

5月20日
第71回群馬県植樹祭（神流町万場）

6月16日
前林協 第18回通常総会（前橋市）

"
甘楽林業協業組合通常総会
磐城林業協同組合第19回通常総会

6月16日には、平成29年度前林協第18回通常総会が開催されますので、多くの会員の皆様方のご出席をいただけますよう周知方よろしくお願い申し上げます。

